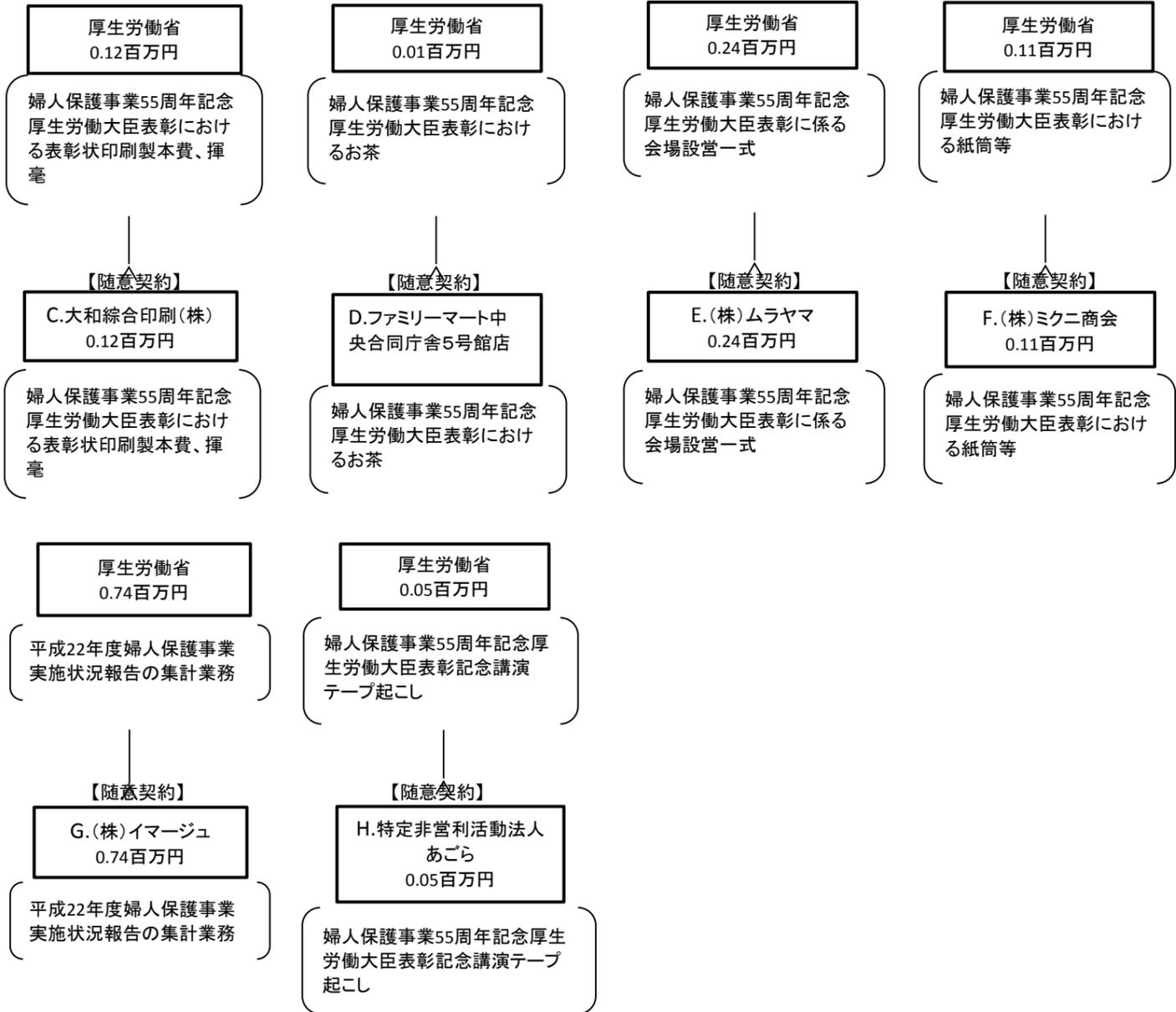
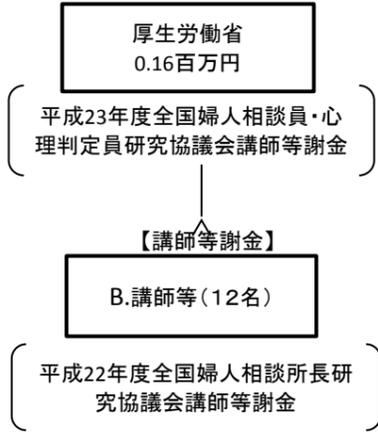
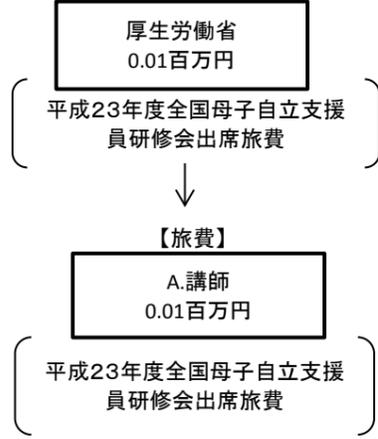


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	母子家庭等自立支援対策費		担当部局庁	雇用均等・児童家庭局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	家庭福祉課母子家庭等自立支援室		高橋 俊之	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅲ-1-6 ひとり親家庭の自立を支援する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	母子及び寡婦福祉関係業務に係る会議等の開催、委員等の出席旅費・謝金の支出、資料等の印刷製本等を行うことにより、母子及び寡婦福祉関係業務の円滑な実施を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	母子家庭の自立支援の推進に必要な会議、検討会、研修会等の開催に当たって必要となる旅費、謝金、印刷製本費、会議費等を支出する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	4	3	3	3	3
		補正予算					
		繰越し等					
	計	4	3	3	3	3	
	執行額	2	2	2			
執行率(%)	50.0%	66.7%	60.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	年度ごとに実施内容が異なるため、定量的な成果目標及び成果実績を示すことは困難である。	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	年度ごとに実施内容が異なるため、定量的な成果目標及び成果実績を示すことは困難である。	活動実績		-	-	-	-
		(当初見込み)			(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.7	0.7				
	職員旅費	0.5	0.5				
	委員等旅費	0.5	0.5				
	庁費	1.3	1.3				
計	3.0	3.0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	母子及び寡婦福祉関係業務に係る会議、検討会、研修会等の開催に必要な旅費、謝金、印刷製本費、会議費等を支出するものであり、母子及び寡婦の保護や自立支援の推進に資する優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	母子家庭等の自立支援を一層推進し、母子及び寡婦福祉関係業務の円滑な実施を図るため、国において実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	検討会等の開催が、当初の見込回数を下回ったため。
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約を行っているが、予算決算及び会計令第99条の規定により少額の随意契約が認められているため問題ない。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業実施に必要な経費に限定している。
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>各審査機関に支出関係書類を提出し、支出額、支出先、使途等を適正に審査していただき、各点検項目による評価も妥当と考えられる。 また、母子家庭等の自立支援を一層推進し、母子及び寡婦福祉関係業務の円滑な実施を図るため、平成24年度以降も引き続き実施する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業の必要性などの評価は概ね妥当であることから、執行率を上げる工夫・改善を図ること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	－		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0417	平成23年行政事業レビュー	0376

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	平成23年度全国母子自立支援員研修会出席旅費	0.01		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	平成23年度全国婦人相談員・心理判定員研究協議会出席謝金	0.02		
2	個人B	平成23年度全国婦人相談員・心理判定員研究協議会出席謝金	0.02		
3	個人C	平成23年度全国婦人相談員・心理判定員研究協議会出席謝金	0.02		
4	個人D	平成23年度全国母子自立支援員研修会出席謝金	0.02		
5	個人E	平成23年度全国婦人相談員・心理判定員研究協議会出席謝金	0.02		
6	個人F	平成23年度全国婦人相談員・心理判定員研究協議会出席謝金	0.01		
7	個人G	平成23年度全国婦人相談員・心理判定員研究協議会出席謝金	0.01		
8	個人H	平成23年度全国母子自立支援員研修会出席謝金	0.01		
9	個人I	平成23年度全国婦人相談員・心理判定員研究協議会出席謝金	0.01		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和綜合印刷(株)	婦人保護事業55周年記念厚生労働大臣表彰における表彰状印刷製本費、揮毫	0.12	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ファミリーマート中央合同庁舎5号館店	婦人保護事業55周年記念厚生労働大臣表彰におけるお茶	0.01	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ムラヤマ	婦人保護事業55周年記念厚生労働大臣表彰に係る会場設営一式	0.24	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ミクニ商会	婦人保護事業55周年記念厚生労働大臣表彰における表彰状紙筒等	0.11	随意契約	

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)イマージュ	平成22年度婦人保護事業実施状況報告の集計業務	0.74	随意契約	

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人あごら	婦人保護事業55周年記念厚生労働大臣表彰記念講演テープ起こし	0.05	随意契約	